

アドバイス・レポート

平成22年1月21日

平成21年10月14日付けで第三者評価の実施をお申込みいただいたサテライト老健桃寿苑につきましては、第三者評価結果に基づき、下記のとおりアドバイスをいたしますので、今後の事業所の運営及びサービスの提供に役立ててください。

記

<p>特に良かった点とその理由(※)</p>	<p>(通番11)労働環境への配慮 休憩施設は、十分なスペースが確保され設備も充実しています。 有給休暇消化率などを管理者が把握されています。事業所への不平、不満もなく働きやすい職場であると職員ヒアリングにおいて確認できました。</p> <p>(通番17)アセスメントの実施 KOMI記録システムを活用し、利用者の心身状況の把握が他職種間において共有しやすく、専門職の意見をもとに個別援助計画が作成され、サービス提供、モニタリング、評価が行われています。</p> <p>(通番21)他職種協働 医療法人 桃仁会病院との連携も緻密で、介護を必要とする透析患者様が安心して利用できる介護老人保健施設です。</p> <p>(通番22)業務マニュアルの作成 各種業務マニュアルが整備され、定期的な見直し基準等も組み込まれています。</p>
<p>特に改善が望まれる点とその理由(※)</p>	<p>(通番6)管理者等によるリーダーシップの発揮 管理者により個人面談が実施されています。しかし、現場スタッフから信頼を得ているのかどうかの確認が不足していると思われる。</p> <p>(通番9)継続的な研修・OJTの実施 施設内・外の研修に積極的に取り組まれています。一部、研修後の報告書や伝達講習の実施記録等の確認ができませんでした。</p> <p>(通番13)地域への情報公開 機関紙を作成し、近隣学校等に配布するなど地域への広報活動に努めておられますが、地域の取り組みへの参加等については不足していると思われる。</p> <p>(通番28)事故・緊急時等の対応 災害時の対応について地域との連携が不足していると思われる。</p>
<p>具体的なアドバイス</p>	<p>(通番6)管理者等によるリーダーシップの発揮 無記名の職員アンケート等を実施し、管理者に対して希望や要望等を自由に述べられる機会があっても良いのではないのでしょうか。</p> <p>(通番9)継続的な研修・OJTの実施 研修に関する体制の構築はされていますが、伝達講習や記録方法等、職員相互に学ぶ体制の見直しをされてはいかがでしょうか。</p> <p>(通番13)地域への情報公開 地域の取り組みやイベントへの具体的な参加、更に地域へ医療・介護に関する情報・技術の発信と啓発についても検討されてはいかがでしょうか。</p> <p>(通番28)事故・緊急時等の対応 今後は災害について、地域で話し合いの場を持ち、マニュアル作成や共同訓練等を実施されてはいかがでしょうか。</p>

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントを「評価結果対比シート」に記載しています。

(様式6)

評価結果対比シート

事業所番号	2650980101
事業所名	特定医療法人桃仁会 サテライト老健 桃寿苑
受診メインサービス (1種類のみ)	介護老人保健施設
併せて評価を受けた サービス(複数記入可)	短期入所療養介護
訪問調査実施日	平成21年12月16日
評価機関名	社団法人全国老人保健施設協会 京都府支部 京都府老人保健施設協会

大項目	中項目	小項目	通番	評価項目	評価結果	
					自己評価	第三者評価
I 介護サービスの基本方針と組織						
(1)組織の理念・運営方針						
	理念の周知と実践	1	組織の理念及び運営方針を明確化・周知している。また、法人の経営責任者(運営管理者含む)及び事業所のスタッフ全員が、理念及び運営方針に沿ったサービスの提供を実践している。	A	A	
	組織体制	2	経営責任者(運営管理者含む)は、公正・適切なプロセスで意志決定を行い、組織としての透明性の確保を図っている。	A	A	
	(評価機関コメント)		目標と運営方針は、具体的で分りやすく表現され、職員に対しても周知及び浸透に向けた取り組みが行われています。			
(2)計画の策定						
	事業計画等の策定	3	組織として介護サービスの向上に向けた計画を策定するとともに着実に実行している。また計画策定には多角的な視点から課題を把握している。	A	A	
	業務レベルにおける課題の設定	4	各業務レベルにおいて課題が設定され、各部門全体が課題の達成に取り組んでいる。	B	B	
	(評価機関コメント)		事業計画や中・長期計画が策定され、責任者、職員間のコミュニケーションも図られ、また各会議、各委員会での達成状況の確認が行われています。			
(3)管理者等の責任とリーダーシップ						
	法令遵守の取り組み	5	遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	A	
	管理者等によるリーダーシップの発揮	6	経営責任者又は運営管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業運営をリードしている。	B	B	
	管理者等による状況把握	7	経営責任者又は運営管理者は、事業の実施状況等を把握し、いつでもスタッフに対して具体的な指示を行うことができる。	A	A	
	(評価機関コメント)		法令遵守に関する研修に取り組まれています。管理者は事業の実施状況等を把握し、また職務権限に沿って、職員に対して権限・責任を周知し、いつでも職員に対して具体的な指示を行うことができる体制が確立されています。			

大項目	中項目	小項目	通番	評価項目	評価結果	
					自己評価	第三者評価
Ⅱ 組織の運営管理						
(1)人材の確保・育成						
		質の高い人材の確保	8	質の高い介護サービスを提供できる人材の確保のために、必要な人材や人員体制についての管理・整備を行っている。	A	A
		継続的な研修・OJTの実施	9	採用時研修・フォローアップ研修等を実施し、段階的に必要な知識や技能を身につけることができる。また業務を通じて日常的に学ぶことを推進しており、スーパービジョンを行う体制がある。	A	A
		実習生の受け入れ	10	実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし、体制を整備している。	A	A
		(評価機関コメント)	施設の特徴である透析治療に係るチームの一員として、専門性の高い人材が確保されています。職員の資格取得に際して必要な休暇を確保するなど、支援体制は確立されています。			
(2)労働環境の整備						
		労働環境への配慮	11	質の高い介護サービスを提供することができるよう、スタッフの労働環境に配慮している。	A	A
		ストレス管理	12	スタッフの業務上の悩みやストレスを解消するために、具体的な取り組みを行い業務の効率を高めている。また、スタッフが充分に休むことができ、心身を休めることができる休憩場所を確保し必要な環境を整備している。	B	B
		(評価機関コメント)	休憩施設は、十分なスペースが確保され設備も充実しています。有給休暇消化率や時間外勤務の時間などを管理者が把握され適正に対応されています。事業所への不平、不満もなく働きやすい職場であると職員ヒアリングにおいて確認できました。また、設備にも配慮されており、最新の特殊浴槽を導入されるなどの環境整備をされています。			
(3)地域との交流						
		地域への情報公開	13	事業所の運営理念を地域に対して開示し、広報するとともに、利用者や地域との関わりを大切にしている。	A	B
		地域への貢献	14	事業所が有する機能を地域に還元している。	B	B
		(評価機関コメント)	ホームページが開設されている他、機関紙を作成し近隣学校に配布するなど広報活動を通じて地域との係わりに努めています。更に具体的な地域への取り組み等も行われてははいかがでしょうか。			

大項目	中項目	小項目	通番	評価項目	評価結果	
					自己評価	第三者評価
Ⅲ 適切な介護サービスの実施						
(1)情報提供						
		事業所情報等の提供	15	利用者(希望者含む)に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A	A
		(評価機関コメント)	パンフレット、利用のご案内を使用して情報の提供をされています。施設見学、入所相談において支援相談員等により、丁寧に対応し記録されています。			
(2)利用契約						
		内容・料金の明示と説明	16	介護サービスの利用に際して必要となる内容や料金について、利用者に分かりやすく説明し同意を得ている。	A	A
		(評価機関コメント)	利用契約については、利用者及び家族に説明され、同意を得ていることが確認できました。			
(3)個別状況に応じた計画策定						
		アセスメントの実施	17	利用者一人ひとりの心身の状況や生活状況を踏まえたうえでアセスメントを行っている。	A	A
		利用者・家族の希望尊重	18	個別援助計画等の策定及びサービスの提供内容の決定に際して、利用者及びその家族の希望を尊重している。	A	A
		専門家等に対する意見照会	19	個別援助計画等の策定に当たり、必要に応じて利用者の主治医・OT/PT・介護支援専門員・他のサービス事業所等に意見を照会している。	A	A
		個別援助計画等の見直し	20	定期的又は必要に応じて、個別援助計画等の見直しを行っている。	A	A
		(評価機関コメント)	KOM I 記録システムを活用し、利用者の心身状況の把握が他職種間において共有しやすく、専門職の意見をもとに個別援助計画が作成されています。			

中項目	小項目	通番	評価項目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
(4)関係者との連携					
	多職種協働	21	利用者の主治医をはじめ、関係機関との間で、連携体制又は支援体制が確保されている。	A	A
	(評価機関コメント)		医師との連携体制は、十分に確保されています。退所支援において居宅ケアマネジャーとの連携で一時外泊により安全な通院の可否の確認等が行われています。		
(5)サービスの提供					
	業務マニュアルの作成	22	事業所業務について、標準的な実施方法(業務マニュアル・手順等)が整備され、スタッフに活用されている。標準的な実施方法は自立支援につながり、事故防止や安全確保を踏まえたものになっている。	A	A
	サービス提供に係る記録と情報の保護	23	利用者の状況及びサービスの提供状況等が適切に記録されており、管理体制が確立している。	A	A
	職員間の情報共有	24	利用者の状況等に関する情報をスタッフ間で共有化している。	A	A
	利用者の家族等との情報交換	25	事業者はサービスの提供にあたって、利用者の家族との情報交換を行っている。	A	B
	(評価機関コメント)		家族との情報交換については、やや施設側からの一方通行的な感じを受けました。サービス担当者会議への家族の参加を積極的に呼びかけることも小規模施設ならではの、可能かと思われる。		
(6)衛生管理					
	感染症の対策及び予防	26	感染症の対策及び予防に関するマニュアルの作成等により、スタッフ全員が感染症に関する知識をもってサービスの提供を行っている。	A	A
	事業所内の衛生管理等	27	施設(事業所)内における物品等の整理・整頓及び衛生管理を行い、効率的かつ安全なサービスの提供を行っている。	A	A
	(評価機関コメント)		月1回の感染症対策委員会の開催と年間計画に沿った勉強会が行われています。施設内には臭気はなく、トイレや水回りも清潔にされています。		
(7)危機管理					
	事故・緊急時等の対応	28	事故や緊急時、災害発生時等における対応等を定めたマニュアルがあり、年に1回以上、必要な研修又は訓練が行われている。	B	B
	事故の再発防止等	29	発生した事故等に係る報告書や記録を作成し、事故の再発の防止のために活用している。	A	A
	(評価機関コメント)		緊急時・事故防止マニュアルが整備され、利用者の急変時には効率的に緊急連絡網を活用されています。		

大項目	中項目	小項目	通番	評価項目	評価結果	
					自己評価	第三者評価
IV利用者保護の観点						
(1)利用者保護						
		人権等の尊重	30	利用者本位のサービス提供及び高齢者の尊厳の保持に配慮したサービス提供を行っている。	A	A
		プライバシー等の保護	31	利用者のプライバシーや羞恥心について、常に問題意識をもってサービスの提供を行っている。	A	A
		利用者の決定方法	32	サービス利用者等の決定を公平・公正に行っている。	A	A
		(評価機関コメント)	利用者の人権や意思を尊重したサービス提供について、理念や倫理規定に定められています。主に接遇委員会で検討され、伝達講習や勉強会を実施し、全職員を啓蒙されています。			
(2)意見・要望・苦情への対応						
		意見・要望・苦情の受付	33	利用者の意向(意見・要望・苦情)を広く拾い上げ、収集する仕組みが整備されている。	A	A
		意見・要望・苦情等への対応とサービスの改善	34	利用者の意向(意見・要望・苦情)に迅速に対応するとともに、サービスの向上に役立っている。	A	A
		第三者への相談機会の確保	35	公的機関等の窓口相談や苦情を訴えるための方法を、利用者及びその家族に周知している。	B	B
		(評価機関コメント)	介護支援専門員を主な相談窓口とされているが、小規模施設の特徴を生かし他職員も対応されています。また、定期的な面接も行っておられ、利用者家族会の開催を予定されています。「京都市介護相談員派遣等事業」への参加を予定されています。その際には、契約書や重要事項説明書にも相談窓口や必要事項の記載を行って下さい。			
(3)質の向上に係る取組						
		利用者満足度の向上の取組み	36	利用者の満足度を把握し、サービスの質の向上に役立っている。	A	A
		質の向上に対する検討体制	37	サービスの質の向上に係る検討体制を整備し、運営管理者を含む各部門の全職種のスタッフが積極的に参加している。	A	A
		評価の実施と課題の明確化	38	サービス提供状況の質の向上のため、定期的に評価を実施するとともに、評価結果に基づいて課題の明確化を図っている。	C	A
		(評価機関コメント)	定期的に満足度調査や自主点検を実施され、課題を明確化して評価・分析し、更なるサービスの質の向上に取り組まれています。			